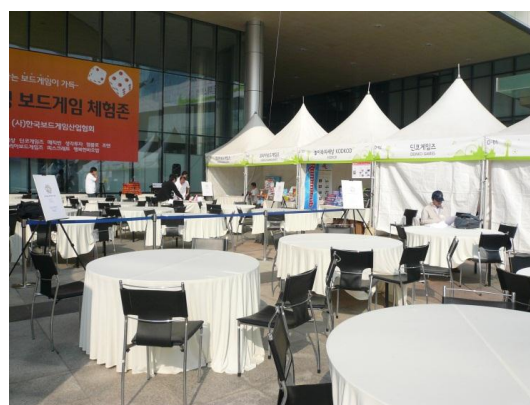




3年ぶり2度目のカタン韓国遠征。前回のリベンジもあるが、私の目的は美味いご飯にアカスリ(^_^)とはいえ、大会の様子です。

今回のカタン・アジア・インターナショナル・トーナメント in 韓国 (CAIT) は Korea Serious Game Festival 2011 Geonggi の一環として、城南市市庁で行われました。

市庁前庭にゲームメーカーのテントやスナックコーナーなどが並びお祭りの感じ。その一角にテントに囲まれたスペースに並ぶテーブル。これが大会会場です。



受付で名前をいうとシール式の名札 (カタンのロゴ入り) と参加賞のTシャツをもらいました。このTシャツはカタンの資源マップがデザインされててなかなかおしゃれ。

一足先に秋になっているソウルとしてはいい天気すぎて暑い！

そんな晴天下の開会式でTシャツを日よけにしてねとのあいさつからはじまりました。

今回の韓国大会はトーナメント方式。負ければその場で終了なきびちいルール。

せっかく日本から来ても1勝もできなかつたら1ゲームで終了です(T_T)

1ゲーム目16テーブル(一部3人ゲーム)、準決勝4テーブル、決勝4人1テーブルとなります。

日本から事前に出場を連絡していたので、日本語のルール解説した紙をもらい、話せるスタッフがサポートについていてくれたので、かなり心強かったです。

日本からの参加メンバーは3人。

テーブルは主催者から指示があり、3人別々でみんな3人ゲームテーブルでスタートです。基本的に日本の大会とルールは変わりません。

ただ、時間切れや決勝ラウンドでの同点の順位決めが道の総本数(長さではない)というのが韓国特有ですね。

韓国だと日本語のわかるプレイヤーもいて、英語、韓国語、日本語の入り混じった交渉でゲームはすすみます。

とりあえず、韓国語での資源を確認はさせていただきました。これは交渉時には必須です。でないと他の人同士の交渉内容がわからないから。

時間はたっぷり2時間準備されていました。まあ、そこまでかかっているテーブルは見当たりませんでした。あと女性のプレイヤーが多く3割ほどいたかな。

1ゲーム目終わって日本人は2人勝ち。各自会場近くでお昼ご飯です。

全テーブルがゲーム終了すると大会会場は準決勝の4テーブルのみにして残りのテーブルはいろんなゲームの体験コーナーになってました。だから勝ち抜きなんですね。

2ゲーム目準決勝で日本人から1人決勝に勝ち抜きました。負けた私は応援に。

個人的に前回の韓国大会の決勝でいやがらせを受けてうきーと怒ってたことを反省したのでリベンジだったのですが、今回は準決勝でも交渉あがりをして結局いらいらで終了してしまいました。また反省です。。

決勝はすぐに始まり、白熱した戦いに。結果日本人は3位でした。残念～。

終了後はさくっと表彰式が1位には50万ウォン、2位には30万ウォン、3位には20万ウォンの賞金が授与されました。



しかし20万ウォン(約14000円)は手渡しではなく銀行振り込み。帰国後調べてみると税金と手数料に半分も取られるので韓国版カタン4セットを送ってもらうことにしたそうです。(まあカタン協会の会長ですからね。)

こうして韓国の大会は終了しました。私個人としてはまたリベンジせねばと心に誓う結果となったのでした。

今回の大会では日本からのツアーや前日のレセプション、当日のパーティーなどはなかったです。

私個人は適当に遊べて問題はなかったのですが、上海と比べると手を抜かれているような。。

最後に日本からの参加メンバー3人で前日にソウルNタワーを観光して、チルジルパン(男女混合サウナ)にて英気を養いました。ソウルは旅行としてとても楽しかったですよ。

